



椿中だより 第12号



令和7年3月25日
松山市立椿中学校
校長 神野 泰二

第39回卒業式を行いました

3月17日(月)、第39回卒業式を挙行了しました。厳粛な雰囲気の中、校長から卒業生代表5名に卒業証書が授与されました。卒業生による「旅立ちのことば」(答辞)や一人一人の立ち居振る舞いからは、椿中学校での3年間で充実したものであったことがひしひしと伝わってくるとともに、彼らの大きな成長ぶりを感じることができました。また、記念合唱「旅立ちの日に」では、圧巻の歌声を体育館中に響かせ、聴く者すべてにすばらしい感動を与えてくれました。



ご挨拶

本日の修業式をもって、令和6年度の全教育活動を終わりました。先日の17日には、本校を力強くリードしてくれた第39期生が一足先に本校を立派に巣立っていきました。また、1・2年生も、この1年間でそれぞれの学年にふさわしい成長を遂げてくれたと思っています。

明るく、情に厚く、人懐こい本校生徒の特性に加え、爽やかな挨拶や礼儀正しい職員室の入退室態度、日々の清掃活動への真剣な取組など、どこの学校にも自慢できる今の椿中生の姿は、我々教職員の自慢であり誇りです。これもひとえに、椿中の子どもたちや至らない点多々あったであろう我々教職員を、いつも温かく見守ってくださった保護者や地域の皆様の多大なるご支援・ご協力のおかげと、本校を代表して心から感謝申し上げます。

令和7年度、本校は創立40周年を迎えます。来年度も、これまでと変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。1年間、本当にありがとうございました。

校長 神野 泰二